

背景・目的

市内の基幹品種‘春のセンバツ’について、販売元から令和4年春まき分種子ロットの発芽率が低下するとの情報を受け、旭川青果物生産出荷協議会小松菜部会では春まき分の作付を見送りましたが、代替品種の選定に苦慮したことから、同様の事態に備え、代替品種の選定を目的として品種比較調査を行いました。

結果

以下の9品種で調査を行いました。播種日：令和4年3月1日 栽植密度：条間18cm×株間4cm, 13,888株/a

品種名	収穫日数 (日)	草丈 (cm)	葉数 (枚)	一株重 (g)	規格内収量 (kg/a)	草姿 ^{†1}	葉の反り ^{†2}
春のセンバツ	40	28.2	11.4	43	426	極立性	平滑
MTK-79	40	28.4	11.3	40	441	やや立性	反る
こいしい菜	38	28.4	11.4	32	334	立性	やや反る
いなむら	41	28.1	11.5	41	405	立性	反り強い
さくらぎ	37	28.1	9.0	33	355	極立性	平滑
菜々音	40	28.1	10.5	37	401	極立性	平滑
TSX-984	39	28.1	11.9	37	355	極立性	やや反る
美翠	40	28.3	12.5	42	412	やや立性	反る
陽翠	41	28.4	10.8	37	340	極立性	平滑

※ ‘春のセンバツ’ は、前年に購入した種子を使用しました。

※ ‘MTK-79’ は、根こぶ病抵抗性を有し（販売元情報）、根こぶ病多発圃場における低温期の基幹品種です。

†1 草姿評価の順：やや立性<立性<極立性 †2 葉の反り評価の順：反り強い<反る<やや反る<平滑

収量性

‘春のセンバツ’ と同等の品種は ‘MTK-79’ ‘いなむら’ ‘美翠’
他に 400kg/a を超えた品種は ‘菜々音’



作業性

‘春のセンバツ’ と同等の品種は ‘菜々音’
‘MTK-79’ ‘いなむら’ ‘美翠’ は、草姿や葉の反りによりやや劣る



収量性	標準	○	○	△	○
作業性	標準	△	△	○	△

※○：‘春のセンバツ’ と同等 △：‘春のセンバツ’ よりやや劣る

結果の活かし方

‘春のセンバツ’ と同等以上の品種はありませんでしたが、状況により代替品種が必要な場合、①根こぶ病多発圃場は ‘MTK-79’、②収量性重視なら ‘MTK-79’ ‘いなむら’ ‘美翠’、③作業性重視なら ‘菜々音’ が挙げられます。